

平成 22 年度定期大会のお知らせ(第3報)

2007(平成19)年5月の「地理空間情報活用推進基本法」の成立以降、地図や地理空間情報をめぐる環境変化が続いています。今年の5月にはタブレット型多機能情報携帯端末が発売され、わが国もいよいよ電子出版時代に突入する兆しが見られ、予想される変化に対し期待と不安が錯綜しています。そうした中であって、日本大学文理学部で行う定期大会では、学校GIS教育専門部会の皆さんによる情報携帯端末を活用した新しい地図教育の可能性を探る特別セッション、地図史専門部会の皆さんによる地図と地域博物館との関わりをテーマとするシンポジウム、地図の著作権をテーマとする多面的なシンポジウム、そして永く海図の立場から日本国際地図学会に貢献されている元海上保安庁水路部の今井健三氏による特別講演を企画しました。多くの方々の参加をお待ちしています。

日 時：平成22年8月19日(木)・8月20日(金)

会 場：日本大学文理学部 3号館

【会場へのアクセス】

日本大学文理学部 3号館 3階 3302教室・3303・3305教室

(〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40)

- ・正門近くの構内図を参照下さい。
- ・京王線下高井戸駅もしくは桜上水駅から徒歩8分



※日本大学文理学部ホームページ (http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access_map.html) もご参照ください。

【大会参加費】

普通会員・特別会員団体構成員：1,000円

学生会員：500円

非会員：2,000円

※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望する会員の方には、一冊700円(送料込)で頒布します。

※地図・図書の展示のみの見学は無料です。

懇親会費：4,000円

平成 22 年度 定期大会プログラム

第 1 日 8 月 19 日 (木) 10:00~16:30

時間	題目・氏名
	《研究発表 1》
10:00	0-1 英人測量允許と伊能図英国譲渡の原因になった日英の政治的背景と再来日のシーボルト 辻本 元博
10:20	0-2 明治初期ジュルダンらによる『鹿児島湾之図』ほかと『大日本海岸実測図』中の『薩隅内海之図』 など 細井 将右
10:40	0-3 地形図にもある (あった) 航海用海図と共通する海域関連の記号について 伊藤 等 (日本大学)
	《研究発表 2》
11:00	0-4 地図投影の連続的な切り替えが可能な世界地図ソフトウェアの開発 松山 克胤* (公立はこだて未来大学)・岡本 誠 (公立はこだて未来大学)
11:20	0-5 簡易レーザー距離計を用いた地形モデル作成方法の検討 黒木 貴一* (福岡教育大学)・塚本 崇史 (インフォテック朝日)・黒田 圭介 (西南学院大学)
11:40	0-6 つくば市内の時空間データセットの試作と任意時間断面の描画 小荒井 衛* (国土地理院)・中埜 貴元 (国土地理院)
	《ポスター紹介》
12:00	P-1 衛星データを使った「地理実験」用教材の提供方法 大島 英幹 (慶應義塾大学)・太田 弘 (慶應義塾普通部)・福井 弘道 (慶應義塾大学)
	P-2 国際 GIS 規格 ISO19000 による電子海図 菊池 真一 ((財)日本水路協会)
	P-3 中縮尺・広域のパノラマ地図の製作 織田 雅己 (広島・地図工房トンビの目)
	P-4 東京デジタルアトラスの構築とその課題 明石 敬史 (法政大学・院)・森田 喬 (法政大学)
12:10	《昼休み》(12:10~13:10) 評議員会 (12:15~13:00) 3304 教室 (3 号館 3 階)
13:10	《ポスター発表コアタイム》(13:10~13:30)
	《特別講演》
13:30	学会活動から学び得たことと今後の学会への期待 ～一海図編集者から若い会員へ伝えたいこと～ 今井 健三 (元海上保安庁水路部)
	《シンポジウム 1》「地図を地域に生かす—地図学博物館の原点に立ちもどって—」
14:40	趣旨説明 鈴木 純子 (地図史専門部会主査)
14:50	Sy-1 埼玉県立文書館の地図資料と地図の事業 内藤 ふみ (埼玉県立文書館地図センター)
15:10	Sy-2 愛媛県歴史文化博物館と地域資料 安永 純子 (愛媛県立歴史文化博物館)
15:30	Sy-3 古地図を城郭史に活かす—城下町絵図の復刻と活用— 和泉 清司 (高崎経済大学)
15:50	総合討論
16:30	シンポジウム終了
16:45	《懇親会》(2 時間程度)

地図・図書展示時間: 10:15~16:15

第2日 8月20日(金) 10:00~16:20

時間	題目・氏名
	《研究発表3》
10:00	0-7 山と河川の注記数の地域的特性について 鈴木 敬子* ((財)日本地図センター)・野々村 邦夫 ((財)日本地図センター)
10:20	0-8 地図作業学習が手描き世界地図の変化に与える影響に関する研究 小林 岳人 (千葉県立沼南高等学校)
10:40	0-9 領海・基線等の認識実態とその問題点—大学生の事例— 井村 博宣 (日本大学文理学部)
11:00	0-10 アメリカ合衆国における州学校アトラス作成を中心とする地理教育振興策 田部 俊充 (日本女子大学)
	《特別セッション》「多機能携帯情報端末の普及と地図教育のこれから—デジタル地図帳(日本版)の試作—」
11:20	S-1 多機能携帯情報端末で登場する地図と利用の可能性 太田 弘 (慶應義塾普通部、教育GISフォーラム)
11:40	S-2 多機能携帯情報端末で変わる高校地理の授業 伊藤 智章 (静岡県立吉原高等学校)
12:00	S-3 デジタル地図帳の試作 大島 英幹 (教育GISフォーラム、慶應義塾大学)
12:20	《昼休み》(12:20~13:20)
	《シンポジウム2》「地理空間情報の著作権」
13:20	趣旨説明 鎌田 高造 (国土地理院)
13:30	Sy-4 政府における地理空間情報の個人情報保護・知的財産権等に関するガイドラインについて 田中 宏明 (国土地理院)
13:50	Sy-5 地理空間情報の流通 大場 亨 (市川市役所)
14:10	Sy-6 マピオンにおける地理空間情報の活用 谷内 栄樹 (株式会社マピオン)
14:30	Sy-7 社会変動と著作物のオープン化の価値 渡辺 智暁 (クリエイティブ・コモンズ・ジャパン)
14:50	Sy-8 「ジオメディア市場」が期待する地理空間情報のあり方について 関 治之 (株式会社シリウステクノロジー)
15:10	《休憩》《表彰式》(15:10~15:30)
15:30	総合討論
16:20	シンポジウム終了

地図・図書展示時間: 10:00~15:45

日本国際地図学会事務局:

〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 (財)日本地図センター内

ホームページ <http://www.jmc.or.jp/gakkai/>

TEL 03-3485-5410 FAX 03-3485-5593 E-mail:gakkai@jmc.or.jp